

# 農業の新しい技術

No. 689(平成27年5月)  
分類コード 01-14  
熊本県農林水産部

## 褐毛和種種雄牛「弦光晴」の選抜

つるみつはる  
農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室  
担当者：安武誠至

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

1. 脂肪交雑、ロース芯面積が抜群に優れた褐毛和種種雄牛「弦光晴」を選抜した。

#### ○血統

父 第二弦光 (高 87)	祖父 第四光重(高 82)	— 光重E T(育高 1)
	祖母 第二たつみや☆(育高 435)	— 第三光丸(高 71)
母 第3 さかえ (繁殖 16894)	祖父 第三光重(繁殖 29)	— 光重E T(育高 1)
	祖母 さかえ☆☆(育高 537)	— 波丸(高 74)

○登録番号：繁殖 1 8 4 ( 8 6 )

○生年月日：平成 2 2 年 4 月 3 日

○生産地：阿蘇郡南阿蘇村

2. 現場後代検定成績および育種価

○脂肪交雑(BMSNo.)は去勢 3.29、雌 4.29 と優れており、育種価でも 2.74(評価種雄牛 497 頭中 5 位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○バラの厚さは去勢 7.8cm、雌 8.1cm と優れており、育種価でも 3.46(評価種雄牛 497 頭中 56 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

○枝肉重量は去勢 498.1kg、雌 459.7kg と優れており、育種価でも 23.82(評価種雄牛 497 頭中 48 位)と高く、優れた能力を有すると推定される。

○SBVは脂肪交雑 2.75、枝肉重量 1.29、バラの厚さ 1.17 と改良効果が大いだと推定される。

※SBV(標準化育種価)は、育種価評価値を個体の特徴を明確にするために、数値に変換したもの。値が±1以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

性別によりその成績にばらつきはあるが、バラの厚さをはじめとして優れた能力をもつ質量兼備の種雄牛です。基幹種雄牛である「光晴重」の異父兄弟であり、「第二弦光」の後継としてその高い能力が期待されます。



弦光晴 (つるみつはる)

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	7	498.1	3.29	51.4	7.8	3.4	642.0
雌	7	459.7	4.29	53.9	8.1	3.4	522.3

表2 育種価(BV) (H27.2 評価)

	枝肉重量	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース芯 面積	バラの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ	日齢 枝肉重量
順位	4 8	5	8 9	5 6	2 6 5	5 6
育種価	23.82	2.74	3.02	3.46	-0.14	28.75
(正確度)	(0.87)	(0.90)	(0.86)	(0.86)	(0.90)	(0.87)

※ 後代頭数17頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛497頭中の順位



図1 SBV (標準化育種価)